

風の松原



安全で快適な  
暮らしを守る

米代西部森林管理署

# 先輩からの贈りもの

秋田県では、日本海に面して海岸防災林が連なっています。そのうち、能代海岸の防災林は「風の松原」と呼ばれています。この「風の松原」の中核となる部分は国有林で、後谷地国有林と大開浜国有林と名づけられています。

後谷地国有林は南北方向の長さ3.4km、東西方向の幅1.2km、面積302ha、また、大開浜国有林は長さ1.3km、幅0.4km、面積41haです。

これらは、強風による飛砂から街や農地を守るために、藩政時代から長い年月をかけて、砂浜にクロマツが植栽されてできあがった森林です。

かつて能代海岸には、米代川が運んだ砂が強風に吹き上げられて、砂浜が広がっていました。住民は、飛砂で住宅や田畑が埋まるなどの被害を受けて、難渋していました。この飛砂を防ぐため、300年くらい昔から、砂浜に樹木を植えることが試みられました。越後屋・渡辺太郎右衛門、越

前屋・村井久右衛門、栗田定之丞、賀藤景林、その他多くの人々が、厳しい生育環境の下で何度も失敗を繰り返しながらクロマツを植えてきました。これら藩政時代に植栽されたクロマツの多くは、その後の飛砂による衰退や伐採によって少なくなりましたが、林齢150年生と推定される森林70haが後谷地国有林の街に近い箇所に残っています。海側には、大正から昭和にかけて植栽された若い森林が連続的に続いており、林齢30～70年生に育っています。これらの森林は、私達の先輩が造ってくれた「緑の遺産」です。



菅江真澄によって描かれた1806年当時の能代海岸（大森山付近）

# 先輩が植えて育てた「緑の遺産」

今、私たちの“安全で快適な暮らし”を守り続けています。

これらの森林は、砂の移動を抑え、飛砂による被害を防ぐことを目的として植えられました。今、立派な森林に育ったことにより、この目的は十分に果たされています。また、市街地に吹く風を弱め、人が感じる寒さを和らげています。林の中は、気温の変化が少なく湿度も高いので、周りより穏やかに感じます。さらに、海からの塩分をろ過し、畑作物の育成を助け、建物の寿命を延ばします。日本海中部地震の時には、津波の被害を小さくしました。

また、最近では、憩いの場所として多くの市民に親しまれ、散歩、ジョギング、きのこ採りなどに利用されています。

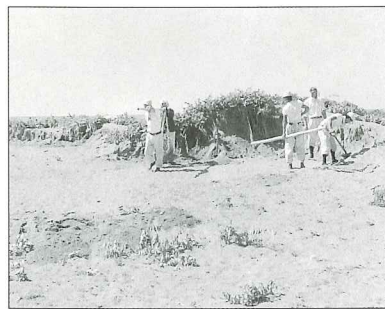
このように、これらの森林は大切な役割を果たしていますので、法律等により各種の指定を受け、適切な管理が行われています。

区分	後谷地国有林	【302ha】	大開浜国有林	【41ha】
種別	飛砂防備保安林	(293ha)	飛砂防備保安林	(40ha)
	保健保安林	(242ha)	潮害防備保安林	(23ha)
	レクリエーションの森	(249ha)	保健保安林	(7ha)
	鳥獣保護区	(302ha)	鳥獣保護区	(41ha)

# こうして 造られた

●整地 ●砂丘造成 ●砂草植栽 ●防風 ●植栽 ●保育

これらの森林の造成にあたっては、砂浜は植物にとって極めて厳しい環境にありますので、先輩方は大変苦勞しました。風や砂の動きを観察しつつ、技術的工夫を重ねてきました。今日の森林の姿は、このような努力によって造り上げられた苦闘の結晶です。



**1/整地**  
砂浜の凹凸を無くし、風の流れを整え、弱めます。



**2/砂丘を造る**  
垣を設けて砂の山をつくり、後方への風の当たり方を弱くします。



**3/草を植える**  
ハマニンニクなどの草を植え、砂が風に飛ばされないようにします。



**4/風を防ぐ**  
ワラ、ヨシ簀などで垣を造って、苗木に風が当たらないようにします。



**5/クロマツを植える**  
クロマツの苗木を植えます。その時、クロマツが育ちやすいように、アキグミなどの木も一緒に植えます。



**6/保育**  
クロマツが成長するように、肥料を施す、草を刈るなどの手入れをします。さらにクロマツが成長してきたら、順に本数を減らしていきます。

# 次の世代へ 引き継ぐ

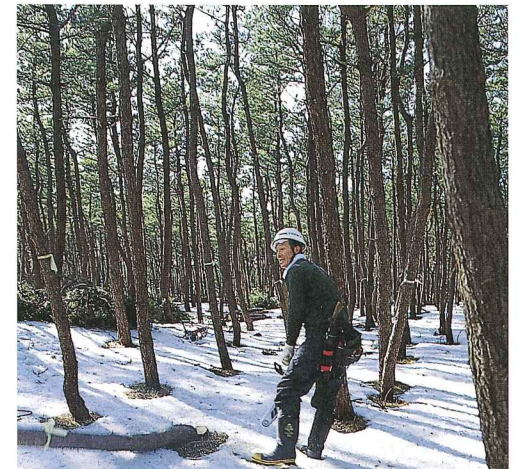
●保育 ●保護

このようにして造られた森林は、生育を続け、今では土壌ができ、植生は豊かになり、森林として成熟しつつあります。

現在は、樹木の成長にあわせて本数密度を減らしていくための伐採作業を継続して、健全な育成に努めています。

また、最近では松くい虫の被害がこの地にも及んできて、平成11年3月に初めて後谷地国有林で被害が発生しましたので、これの防除に努めています。

先輩からこの「緑の遺産」を託された私たちは、健全に育て上げ、次の世代に引き継ぎます。



保育/樹木の成長にあわせて本数を減らします。

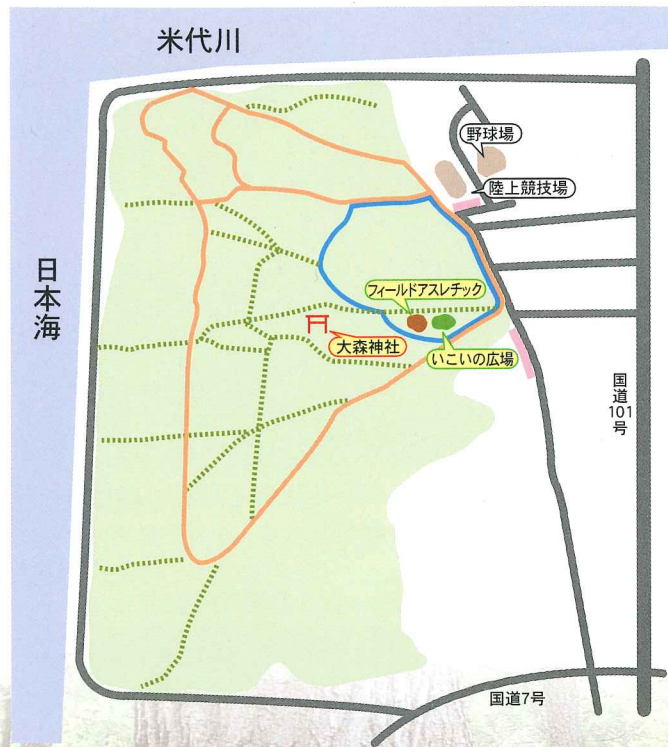
## 【選定されている百選】

- 21世紀に残したい日本の自然100選 (昭和58年1月1日 朝日新聞社・(財)森林文化協会)
- 21世紀に引き継ぎたい日本の名松100選 (昭和58年5月18日 (社)日本の松の緑を守る会)
- 森林浴の森100選 (昭和61年4月19日 緑の文明学会・緑の文明総合研究所)
- 21世紀に引き継ぎたい日本の白砂青松100選 (昭和62年1月10日 (社)日本の松の緑を守る会)
- 残したい日本の音風景100選 (平成8年7月1日 環境庁)

# 大切に利用

●森林でのマナー

# するために



能代の海岸防災林は、「風の松原」と呼ばれ、市民の憩いの場所として親しまれています。

後谷地国有林の中に、広場、あずま屋、水飲み場、トイレ、フィールドアスレチック、トリムランニングコース、サイクリングコースなどが整備され、多くの市民に利用されています。

また、市民のボランティアにより、クリーンアップ活動などが行われています。

## 森林でのマナー

いつでも快適に利用できるように、次のことを守りましょう。

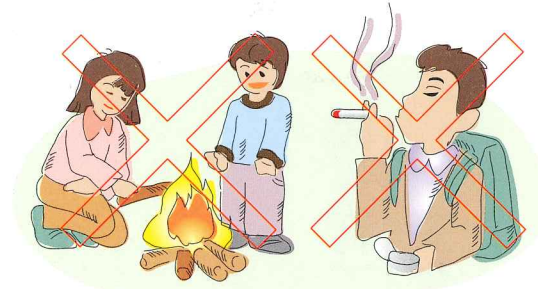
### 1 車の森林への乗り入れは止めよう!

車の森林への乗り入れは禁止されています。駐車場を利用しましょう。



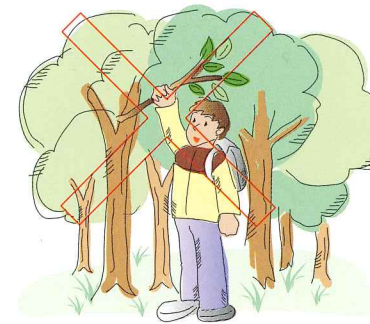
### 2 火の扱いに注意しよう!

山火事は、森林を破壊するばかりでなく、近くの住宅や人命にも危害を及ぼします。たき火やたばこの投げ捨ては止めましょう。



### 3 動植物を傷つけない。

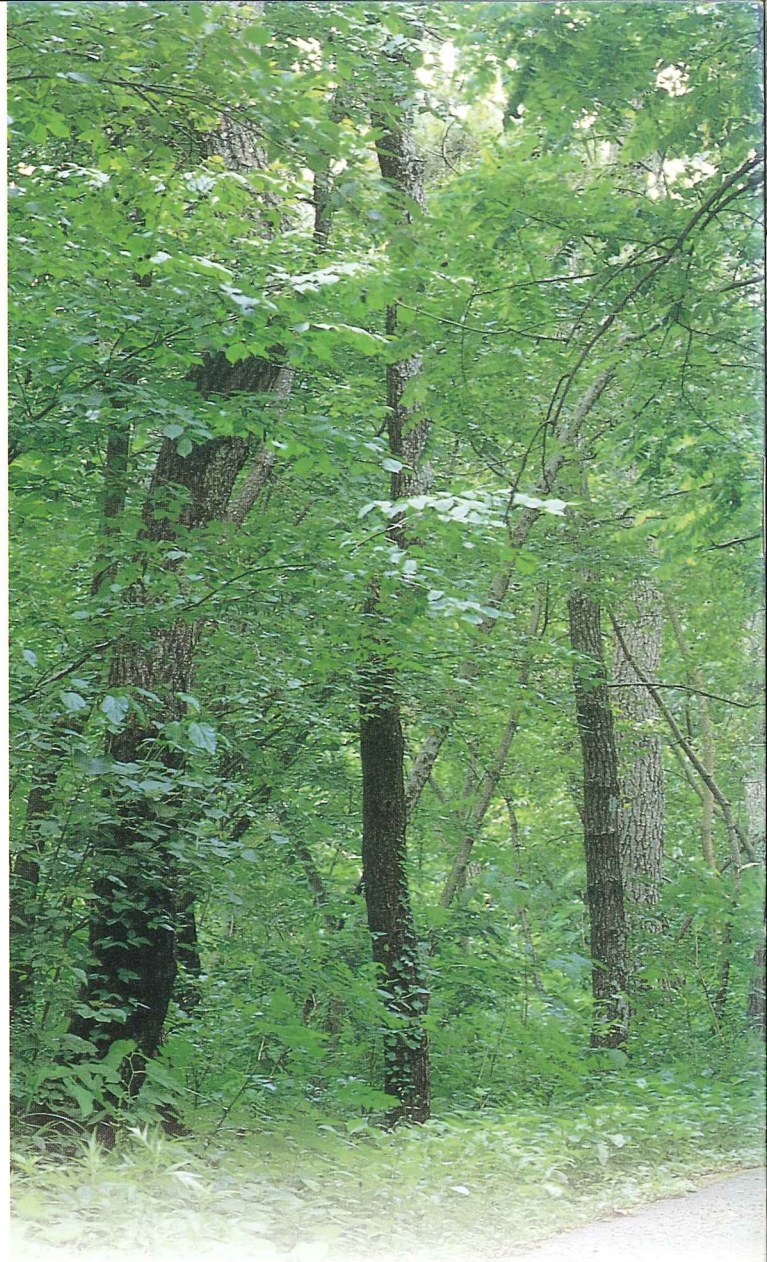
動植物も同じ生き物です。大事にしましょう。



### 4 ゴミは持ち帰ろう!

みんながもう一度行ってみたいくなるような、美しい森林にしましょう。ゴミは必ず持ち帰ってください。





緑を育て

安全で快適な環境づくりに貢献します



東北森林管理局  
米代西部森林管理署

〒016-0815 秋田県能代市御指南町3-45  
tel 0185-54-5511 fax 0185-54-5514